

米国アカデミー賞公認 アジア最大級の国際短編映画祭 東京発ショートフィルムの祭典
ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2026

アカデミー賞公認映画祭が注目する、新しいショートフィルム表現
国際基準の才能を発掘

「サイバーエージェント縦型アワード」世界公募スタート
締め切りは3月31日

米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭、ショートショートフィルムフェスティバル & アジア（略称：SSFF & ASIA）は、2026年の開催に向け、株式会社サイバーエージェント（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：山内隆裕、東証プライム市場：証券コード4751、以下サイバーエージェント）と共に、**グランプリと各優秀賞が翌年のアカデミー賞ノミネート候補として選出されるライブアクション部門、アニメーション部門、ノンフィクション部門の全応募作品の中などから、縦型動画として最も「高い効果・表現力」を発揮したクリエイティブ作品（ショートドラマ、ブランデッドムービー、観光映像等）で、特に、創造性やメッセージ性、映像表現の革新性を有する作品に対して【サイバーエージェント 縦型アワード（英語：CyberAgent Vertical Award）】を授与することを決定いたしました。**

本取り組みは、“縦型コンテンツ”の集積地となる新たなアワードを設立し、縦型動画クリエイティブの未来を創出する場づくりを目的に2025年にスタート。第1回では、きっと青春の1ページ、本日も絶体絶命。、毎日はいかむ僕たちは。、こねこフィルム、安田現象の5団体がノミネートし、こねこフィルムが見事アワードを獲得。プレゼンターを務めた岩井俊二監督からは「皆さんの表情を見ていると、思わず笑顔になってしまいますね。すっかりファンになってしまいました。」と、映画的世界を描きつつ、日常生活における縦型映像の身近さを感じさせるコメントが寄せられました。

2回目となる2026年度は国内のみならず、広く海外からの作品も対象とし、推薦に加え作品の一般公募をいたします。SSFF & ASIA 史上最大の縦型作品の応募数を目指し、優秀な縦型ショート作品を国内外に広く発信していきます。昨年以上に多岐にわたる表現内容、そしてハイレベルな演出への期待が高まります。

アワード受賞者には賞金：50万円と、副賞として、極AIお台場スタジオ体験ツアー & スタジオを使用した作品制作権が授与されます。



SSFF & ASIA 2025アワードセレモニー
左：サイバーエージェント安藤達也氏 右：岩井俊二監督



2025年度アワードを受賞したこねこフィルムのメンバー

【サイバーエージェント縦型アワード】について

- 目的：サイバーエージェントとSSFF & ASIAで“縦型コンテンツ”の集積地となる新たなアワードを設立し、縦型動画クリエイティブの未来を創出する場とします。
- 表彰対象：縦型動画にて「高い効果・表現力」を発揮したクリエイティブ作品（ショートドラマ、ブランデッドムービー等）。特に、創造性やメッセージ性、映像表現の革新性を有する作品・団体・プロジェクトを対象とします。
- 受賞内容 賞金：50万円、
副賞：極AIお台場スタジオ体験ツアー & スタジオを使用した作品制作権



「**極AIお台場スタジオ**」は、サイバーエージェントが所有する、AIや3DCGを活用し広告効果の最大化に特化したクリエイティブ制作スタジオ。特徴の異なる3台のLEDウォールや高品質なポリュメトリックキャブチャが可能な4Dスキャン、編集室、収録室などの最先端設備を完備。

〈岩井俊二監督よりコメント〉

昨年は縦型アワードでプレゼンターをさせて頂きました。最近では縦型動画の躍進が著しく、新しい表現アспектとして存在感を増しています。次回はどんな作品がグランプリを受賞するか、楽しみにしております。

〈安藤達也氏（株式会社サイバーエージェントエンターテインメントプロデュース局局長・プロデューサー）のコメント〉

世界的に注目される本フェスティバルで、2026年も縦型アワードを実施させていただけてとても光栄です。アグレッシブ&ダイナミックな縦型ショートの前線でチャレンジされているクリエイターや役者の皆さんの表現に触れられること、心から楽しみにしています。

【サイバーエージェント縦型アワード応募方法】

〈2026年1月31日（土）までにご応募の場合〉

SSFF & ASIA 2026 ライブアクション部門（インターナショナル/アジア インターナショナル/ジャパン）、ノンフィクション部門、アニメーション部門にご応募いただければ、サイバーエージェント縦型アワードの選考対象となります。

※応募概要は各部門に準じます。応募フォームにある設問「作品作りにニューテクノロジーや革新的なフォーマットを取り入れていますか？」に対し、「縦型フォーマット」を含んでご回答ください。

<https://app.lifelogbox.com/festival/shortshorts?tab=competition>

〈2026年2月1日（日）から2026年3月31日（火）までにご応募の場合〉

サイバーエージェント縦型アワード応募専用フォームに下記よりお進みいただき、ご応募ください。

URL <https://app.lifelogbox.com/festival/shortshorts?tab=competition>

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア】

SHORTSHORTS

FILM FESTIVAL & ASIA

米国俳優協会（SAG）の会員でもある俳優 別所哲也が、米国で出会った「ショートフィルム」を、新しい映像ジャンルとして日本に紹介したいとの想いから1999年にアメリカン・ショート・ショートフィルムフェスティバル創立。2001年には名称を「ショートショート フィルムフェスティバル（SSFF）」とし、2004年に米国アカデミー賞公認映画祭に認定されました。また同年、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成を目的とし、同年に「ショートショート フィルムフェスティバル アジア（SSFF ASIA 共催：東京都）」が誕生し、現在は「SSFF & ASIA」を総称として映画祭を開催しています。

2018年に映画祭が20周年を迎えたことを記念し、グランプリ作品はジョージ・ルーカス監督の名を冠した「ジョージ・ルーカス アワード」となりました。2019年1月には、20周年の記念イベントとして「ショートショートフィルムフェスティバル in ハリウッド」が行われ、また、2019年の映画祭より、ライブアクション部門（インターナショナル、アジアインターナショナル、ジャパンの各カテゴリー）およびノンフィクション部門の各優秀賞4作品が、2022年からはアニメーション部門の優秀賞を含む5作品が、翌年のアカデミー賞短編部門へのノミネート候補とされる権利を獲得しました。SSFF & ASIAは映画祭を通じて引き続き、若きクリエイターを応援してまいります。

【公式ウェブサイト】 <https://www.shortshorts.org>

【本件に関するお問い合わせ先】

ショートショート実行委員会 担当：田中 TEL：03-5474-8201 / FAX：03-5474-8202 /

E-mail：press@shortshorts.org

画像は下記よりダウンロードいただけます

https://drive.google.com/drive/folders/1P6uGdLc4_i4U_eGQa_IPpy5woCne5mxz?usp=sharing